

高丸工業株式会社

兵庫県西宮市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

関西を代表するロボット Sler として中小企業の生産性向上及びロボット人材の育成に貢献

- 生産工程のコンサル能力及び最適なロボットシステム構築技術により、中小企業の実業生産性向上に貢献
- 中小企業の担当者を始め、高校生向けにもロボット教育を実施してロボット人材不足対応に貢献
- 各ロボットを常設した、機種選択、事前検証、人材育成が可能な画期的なセンターを兵庫県と東京都に開設

企業基本情報

所在地	兵庫県西宮市朝凧町 1-50 JFE 西宮工場内
電話/FAX	0798-38-9200/0798-38-1616
URL	https://www.takamaru.com/
代表者	代表取締役 高丸 正
設立	1963年
資本金	8,500万円
従業員数	29人



会社概要

中小企業へのロボット導入に欠かすことのできない存在であるロボット Sler に 1978 年という早い時期に参入し、地域の中小企業のロボット導入を支援するとともに、各ロボットを常設したロボットテクニカルセンターを開設。機種選択、事前検証のほか、中小企業や高校生向けのロボット講習を実施してロボット人材育成にも取り組むことで、中小企業の実業生産性向上及び人材確保に貢献している。



西宮工場 (約 4200㎡)

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ コンサル能力及びシステム構築技術を有するロボット Sler

中小企業においては生産性の向上や人手不足等の課題に直面しており、その解決策としてロボット導入を目指す一方で、高い技術が要求されることからロボット Sler の役割が重要となる。同社では生産工程のコンサル能力及び最適なロボットシステム構築技術を有しており、中小企業向けをはじめ多くのロボットシステムの導入実績がある（昨年、一昨年のロボット導入実証事業では 8 件の採択をうけるに至ったが、その全てが中小企業）。



ロボットテクニカルセンター

▶▶▶ ロボット利活用社会の促進にはロボット人材の育成が最重要

「ロボット利活用社会の促進にはロボット人材の育成が最重要である」という考えの下、2009 年から、労働安全衛生法に基づいた「ロボット安全特別教育」を実施。2017 年 8 月末現在、資格発行者数は 2,112 名に上り、直近の 1 年間は、ロボットメーカーの発行者数を上回っている。さらに、「中小企業のロボット導入のために、就労前の高校生にロボット操作教育を実施すべきである」という考えに基づき、高校生のロボット教育を 10 年間実施している。



高校生向けロボットセミナー

▶▶▶ 画期的なロボットセンターの開設によるビジネスの円滑化

2007 年、尼崎に主要メーカーのロボットを常設し、機種選択、事前検証、人材育成が可能な「尼崎ロボットテクニカルセンター (ARTC)」を開設（現在は法人化して (株) ロボットテクニカルセンター。施設名は「RTC 兵庫」）。

ロボットシステム構築においては実際にロボットを用いて作業を検証することが最も有効であり、ユーザーからの様々な依頼に対して最適に対応している。

さらに 2017 年 10 月「RTC 東京」を新規開設し、業務拡大を図っている。



産業用ロボット 11 台を常設した RTC 東京